

新型コロナウイルス感染症相談窓口

発熱等の症状がある方は、まずはかかりつけ医等の身近な医療機関に電話でご相談ください。かかりつけ医がない方、またはどこに相談してよいか分からない方は、「受診・相談センター」にご相談ください。

体調の変化を感じたら

☆不要な外出は控え、体温を測り記録しましょう。

★症状には個人差がありますので、強い症状と思う場合にはすぐに相談してください。解熱剤などを飲み続けなければならない方も同様です。

☆お子様について

小児については、小児科医による診察が望ましいので、症状がある場合は、かかりつけ小児医療機関に電話で御相談ください。



風邪のような症状、発熱、強いだるさ・息苦しさ

電話で相談

かかりつけ医がない方
どこに相談すればいいかわからない場合は

かかりつけ医
身近な医療機関

診療・検査

※受診・相談センター、または診療機関を案内する場合があります。

受診・相談センター

0120(567)747

(平日・休日問わず24時間対応)

※耳の不自由な方は

ファックス(024(521)7926)

でご連絡ください。

※従来の「帰国者・接触者相談センター」から名称が変更となりました。

【その他の相談窓口】

○福島県一般相談(コールセンター)

電話0120-567-177

平日 8:30~21:00 土日祝日 8:30~17:15

○二本松市相談センター(健康増進課)

電話0243-55-5109

ファックス 0243-23-1714

平日 8:30~17:00

【受診・相談センターの問い合わせ先】

福島県コロナ対策本部 024(521)7262

☆新型コロナウイルス感染症への感染の懸念から、医療機関の受診や健康診断を控える傾向が強まっています。必要な受診や健診を控えることは、病気の早期発見・早期治療に支障が出るなど、健康上のリスクを高めることになります。適切な受診と健診を心がけましょう。

★医療機関を受診する際にはマスクを着用するほか、手洗いや咳エチケット(咳やくしゃみをする際に、マスクやティッシュ、ハンカチ、袖・肘の内側などを使って、口や鼻をおさえる)の徹底をお願いします。

～感染症の予防について～


新型コロナウイルスを含む感染症対策の基本は、「手洗い」や「マスクの着用を含む咳エチケット」です。

①手洗い

正しい手の洗い方


手洗いの前に

- ・爪は短く切っておきましょう
- ・時計や指輪は外しておきましょう




1

流水でよく手をぬらした後、石けんをつけ、手のひらをよくこすります。




2

手の甲をのぼすようにこすります。




3

指先・爪の間を念入りにこすります。




4

指の間を洗います。



5

親指と手のひらをねじり洗いします。

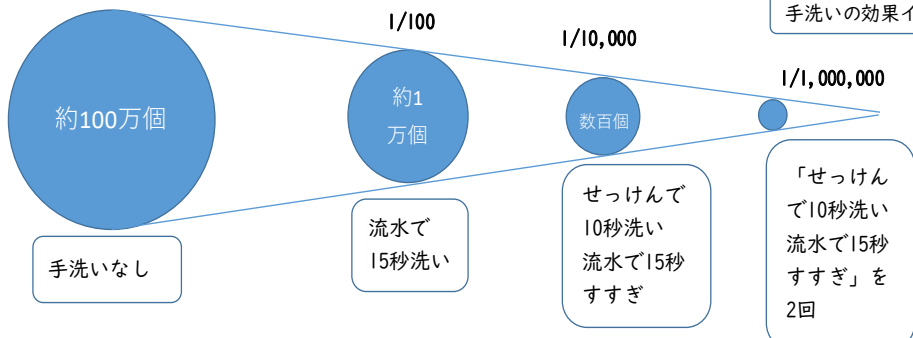


6

手首も忘れずに洗います。

石けんで洗い終わったら、十分に水で流し、清潔なタオルやペーパータオルでよく拭き取って乾かします。

手洗いの効果イメージ




約100万個	約1万個	数百個	1/1,000,000
手洗いなし	流水で15秒洗い	せっけんで10秒洗い 流水で15秒すぎ	「せっけんで10秒洗い 流水で15秒すぎ」を2回


(参考文献) 森功次他：感染症学雑誌.80:496-500(2006)

手洗いの、5つのタイミング

**公共の場所から
帰った時**




**咳やくしゃみ、
鼻をかんだ時**




ご飯を食べる時


前後！



**病気の人の
ケアをした時**



**外にあるものに
触った時**



～感染拡大を防ぐために～

- ◇家庭内においても ①必要に応じてマスクを着用する ②こまめに手指消毒を行う ③定期的に室内の換気を行う など、「新しい生活様式」の実践にご協力をお願いします。
- ◇新型コロナウイルス感染症から自分を守ること、そして自分の大切な人を守る行動が、医療現場の負担を減らし、社会を守ることにもつながります。
- ◇咳エチケットや手洗い等の基本的な感染症対策の徹底、密閉、密集、密接の3つの密を避けましょう。

問合せ 二本松市新型コロナウイルス感染症対策本部(健康増進課)

Tel55-5109 (平日8時30分～17時15分)